

# 弱さのうちに現れる キリストの力



## コリント人への手紙第二

12:8~10

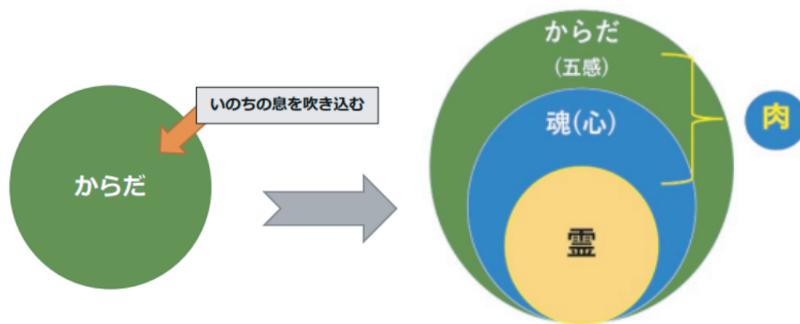
12:8 このことについては、これを私から去らせてくださるようにと、三度も主に願いました。

12:9 しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

12:10 ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

## 霊・魂・体

創世記2:7 その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。



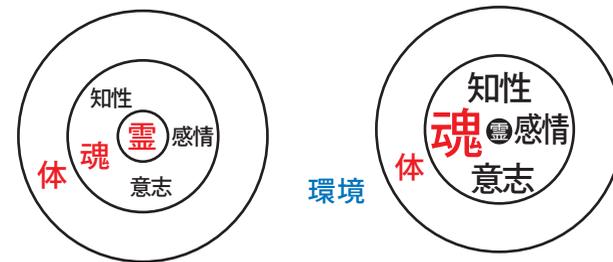
## 本来の人の姿

本来の人は、霊が神を感じて、霊が魂を機能させて神に応答し、魂が体を使って神の御心を行う、という目的で、創造されている。

霊は、神を意識し、霊を認知。  
魂は、自己を意識し、他者を認知。  
体は、五感を認知。 } 肉

## 魂の「肥大化」

### 魂中心の姿



## 人の霊

人の霊は神のいのちを受け取る受信装置的な部分であり、大切な役割を与えられている。人の霊は人全体の最も中心的な位置として、たましいに影響を与える。それゆえ、霊とたましいは意識をもって区分されるべきである。

## たましい

「霊」が健全に機能している場合は、「たましい」は「霊」によって支配されて神のいのちの統制下のもとに置かれるが、「霊」が機能不全を起こしている場合には「からだ」からもたらされる情報(五感)によって「たましい」は大きく影響を受けるのである。

## 必要なこと

霊に必要なことは、新しく生まれること、そして神さまとの交わりである。

聖書を読むことは神さまに聞くことである。また祈りは神さまとの会話である。賛美は神さまに対する信頼であり、信仰の表現である。

よって私たちは聖書を読み、祈り、賛美することによって霊が成長し、魂中心の人から霊中心、信仰の人と変えられていくのである。

## みことばを思い巡らす 信仰によって結びつける

ヘブル4:2 福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。



## 争いのもと

### 女奴隷ハガルからイシュマエルが

創世記16:2 サライはアブラムに言った。「ご存じのように、主は私が子どもを産めないようにしておられます。どうぞ、私の女奴隷のところにおはいりください。たぶん彼女によって、私は子どもの母になれるでしょう。」アブラムはサライの言うことを聞き入れた。

### 頑なに招きを拒んだモーセ

出エジプト3:10 今、行け。わたしはあなたをパロのもとに遣わそう。わたしの民イスラエル人をエジプトから連れ出せ。」3:11 モーセは神に申し上げた。「私はいったい何者なのでしょう。パロのもとに行ってイスラエル人をエジプトから連れ出さなければならぬとは。」

ヤコブ、ギデオン、ダビデ、エリヤヨナ、パウロ・・・

## 伝道旅行から離れたマルコ

使徒15:37~39バルナバは、マルコとも呼ばれるヨハネもいっしょに連れて行くつもりであった。しかしパウロは、パンフリヤで一行から離れてしまい、仕事のために同行しなかったような者はいっしょに連れて行かないほうがよいと考えた。そして激しい反目となり…

### イゼベルにおびえたエリヤ

ヤコブ5:16 ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。5:17 エリヤは、私たちと同じような人でしたが、雨が降らないように祈ると、三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。

「わたし(キリスト)の力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」

私が弱いときにこそ、私は強い